



菊川市議会だより

議会のひろば

2025.5.15 No. 8 2

特集……………P01
 2月定例会概要……………P03
 代表質問……………P06
 一般質問……………P09
 みんなの声……………P14
 きかせてパパママの声 他…P15

今月の
特 集

令和7年度議会ふれあいミーティング
「語ら座あ」と
令和7年度こども議会を開催します



菊川市ホームページ
市議会のページは
こちらから



特集 菊川市こども議会

こども議員募集!!

〈菊川市こども議会とは?〉

「菊川市こども議会」は、菊川市の将来を担うこどもたちを対象に、模擬議会の体験を通じて議会や市政に関心を持ってもらい、将来の市議会議員及び有権者の教育を図ることや、こどもたちの自由な意見や提言を聞き、今後のまちづくりの参考とすることを目的として、平成28年から実施しています。本年度も、こどもたちの主体性や積極性を尊重し、議場での提案の発表に向けて、こどもたちが市議会議員と一緒に調査・研究をし、こどもたちと市議会議員がより深く関わることを目的に、実施方法を昨年度同様に開催する予定です。

本年度も参加対象を市内の小学5年生から中学3年生の児童・生徒を対象とし、参加してください。こども議員を募集します。

夏休み期間を活用し、こどもたちと市議会議員と一緒に、こども議会当日の提言書発表に向けて、テーマ決めから調査・研究、提言書の作成までを行います。

身近で問題と感じていることや菊川市の将来について、市議会議員と一緒に考えてみませんか?



令和6年度こども議会

募集期間は5/19(月)から6/27(金)までです!!

【対象】 市内在住の小学5年生から中学3年生までの児童生徒
【募集定員】 15名(応募者数によっては実施主体者による選考となります。)

応募方法や実施方法は次のとおりです。

【開催日時】
 全5日間の予定(午前9時から12時)
 第1回 7月25日(金) オリエンテーション等
 第2回 7月29日(火) オリエンテーション等
 第3回 8月4日(月) 調査・提言書作成
 第4回 8月7日(木) 調査・提言書作成
 第5回 8月18日(月) こども議会(発表)

【申込方法】
 「菊川市こども議会参加申込書」を記入して、議会事務局まで提出(郵送・FAX・電話)または左記QRコードから申込をしてください。申込書は市議会HPからもダウンロードできます。

菊川市議会事務局
 〒439-8650 菊川市堀之内61
 TEL: 0537-35-0941
 FAX: 0537-35-2116



市議会HPへ



参加申込書

「菊川市こども議会参加申込書」を記入して、議会事務局まで提出(郵送・FAX・電話)または左記QRコードから申込をしてください。申込書は市議会HPからもダウンロードできます。

令和7年度議会報告会のご案内

議会ふれあいミーティング

新ら座あ



全体会
市役所東館
きくる開催

7/5 (土) 13:30~15:00

※託児、手話通訳有。託児をご希望の方は事前に議会事務局までご連絡ください。

各地区の開催日程

報告会	日程	時間	会場
小笠東	6/10(火)	19:00~20:30	くすりん
内田	6/11(水)	19:00~20:30	内田地区センター
河城	6/12(木)	19:00~20:30	河城地区センター
六郷	6/13(金)	19:00~20:30	六郷地区センター
小笠南	6/16(月)	19:00~20:30	みなみやま会館
西方	6/17(火)	19:00~20:30	西方地区センター
町部	6/18(水)	19:00~20:30	町部地区センター
加茂	6/19(木)	19:00~20:30	加茂地区センター
嶺田	6/24(火)	19:00~20:30	みなだ会館
平川	6/25(水)	19:00~20:30	ひらかわ会館
横地	7/1(火)	19:00~20:30	横地地区センター

報告会の内容

- ①市議会の仕事・概要等
 - ②令和6年度委員会活動
 - ③事務事業評価
 - ④令和7年度の当初予算
 - ⑤意見交換
- 「わがまち菊川市の魅力は？」
他 ご意見・ご要望等

ご参加いただいた皆様に、菊川市議会オリジナル「きくのはんクリアファイル」をプレゼント致します。



お問い合わせ
菊川市議会事務局

TEL:0537-(35)-0941 FAX:0537-(35)-2116
Email: gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp



詳細はコチラ

概要

2月定例会
審議結果

会期 45日間 令和7年2月12日～3月28日



賛否が分かれた議案等一覧表

議案番号	議案名	結果	本田 高一	黒田 茂	松永 晴香	白松 光好	奥野 寿夫	藤原万起子	石井 祐太	渡辺 修	須藤 有紀	東 和子	坪井 仲治	織部ひとみ	織部 光男	小林 博文	西下 敦基	山下 修	赤堀 博
議案第21号	令和7年度菊川市一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-
議案第33号	菊川市監査委員の選任について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	-

※○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長(赤堀 博)は採決に加わらない。
すべての議案名および審議結果は菊川市議会ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

令和7年度予算 税金の使い道をチェック

令和7年度の各会計の予算案が市長から議会に提出されましたので、令和7年3月10日、11日、12日に一般会計予算決算委員会を開催して審査し、27日の本会議において、すべての予算案が原案どおり可決されました。

令和7年度 菊川市各会計当初予算額

(単位：千円)

会計名	当初予算額	前年度との比較
一般会計	24,571,000	329,000
国民健康保険特別会計	4,356,275	100,024
後期高齢者医療特別会計	697,116	52,289
介護保険特別会計	3,911,464	18,455
土地取得特別会計	49	48
病院事業会計	7,438,853	441,906
水道事業会計	1,989,180	127,822
下水道事業会計	1,714,273	△ 62,729
総合計	44,678,210	1,006,815

⑨ 地域おこし協力隊の採用時期、活動負担金の詳細、募集業務の委託先と業務実績、活動内容、要員確保の見通しは。

⑩ 地域おこし協力隊の採用決定時期は、予算の承認後、速やかに募集を行う業者の選定に入り、最短で9月には確保できるように予定している。次に、活動負担金の詳細は、活動に当たる隊員の住居の借上料や車両の使用料、活動に必要な通信費や消耗品費、市外で開催されるイベントや研修に参加するための旅費、市の魅力を発信するリーフレットの制作費を見込んでいる。募集業務の委託先と業務実績、活動内容は、今後、他市町等の実績も踏まえて業者を選定する予定だが、委託業者には採用後の活動内容のミスマッチをなくす募集要項の作成や、周知、広報の支援、面談等を実施する中で、よりよい人材を確保するための支援を行ってもらう予定である。また、地域おこし協力隊員の募集については、昨年の

静岡県内での応募者数に対する採用率が71%であったこと、本市においても過去に募集を行った際になかなか人が集まらず苦慮した状況等を踏まえて、専門業者に委託をして確実な人材採用を実施したいと考えている。現時点では具体的な人物はいないが、委託業者と連携し、本市の地域おこし協力隊員として積極的かつ意欲的に活動し得る人材を広く募集をして確保したいと考えている。

〈執行部回答後の議員意見〉

地域おこし協力隊は、2名を総務部内で受入れるということなので、業務所掌をしっかり伝えて、それぞれがしっかり活動できるようにしてほしい。

⑪ 新設する災害対策本部棟の目指すべき姿は。

⑫ 災害対策本部棟については、本庁舎よりも耐震性に優れた建物で、堀之内体育館と併設にな

る。堀之内体育館は鉄骨造りで災害対策本部棟は鉄筋コンクリート造りになる。ここは災害対策最後の砦になるもので、全への対応が可能となるように、停電発生時でも非常用発電機で72時間電源を供給できる。体育館については、災害時に陸上自衛隊やライフライン（電気・ガス・水道）などの待機場所として使用するため、災害対策本部と一体的に災害対応ができる施設になる。雨水を貯留するタンクを設け、マンホールトイレで使用することとした。災害対策の体制については、国や県からの支援があるまでは事務などをやれるという体制を構築する。

〈執行部回答後の議員意見〉

予想される東南海地震を考慮して、市民の安全を守る最後の砦ということでも本堂にいいものをつくってほしいと思うので、さらに議論を深めていってほしい。

災害対策はハード部分も大

切であるが、やはり大切なのはソフトの部分だと思う。災害発生時に発災後の減災ということを短時間で判断しながら災害の拡大を防ぐことが必要で、これを訓練の中でしっかり培っていただきたい。



⑬ 子ども・子育て支援制度（民生費）、おおぞら認定こども園の民営化で、市の職員がどのように移行する見込みか。保育士は確保できるのか。

⑭ 正規職員は、民営化するおおぞら認定こども園に5人派遣予定である。その他の正規職員は、小笠北認定こども園、または庁内の各部署の勤務となる予定となっている。会計年度任用

職員については、民営化されたおおよそ認定こども園で法人職員として働く方も十数人、法人独自で採用される保育士もあり、4月の開園にあたり保育士は確保されている。

〈執行部回答後の議員意見〉

誰でも通園制度を先行して行っているところを参考に、問題がどのようなものであるか、国の動向も併せて注視をしなければならないといけないと感じる。市内こども園についても共働きの通園を申請したが行きたい園になかなか行けず、遠くのところを紹介されたという相談を受ける。なるべくバランスを取って、うまく調整していただければと思う。

㊤ 電子図書館をタブレットで利用するなど、学校との連携について考えは。

㊤ 小学校、中学校の児童生徒に電子書籍の普及を図りたいと思っている。図書館にいる学校司書を使い、各学校の児童生徒

に電子図書館を見てもらうような働きかけをしていきたいと考えている。学校司書は市立図書館に配属されており、4人全て会計年度任用職員である。市内小、中学校12校を各3校ずつ担当して、4人が年に20回から22回、月に2回程度訪問している。

〈執行部回答後の議員意見〉

電子図書館も2月からスタートした。小・中学校でもタブレットを活用し本離れ解消に役立てていただきたい。紙もデジタルも両方に言えるが購入図書については要望もあるので、予算を必ず確保してある程度充実させていきたい。



代表質問 一般質問

議会の映像配信をご覧いただくには



代表質問とは？

2月定例会において、施政方針及び予算編成方針の内容や市長の考え方を会派の代表者が質問します。
質問会派：「市民ネット」、
「菊川ゆめ未来」、「みどり21」

一般質問とは？

議員が地域住民に密着している事項や市の施策について、状況確認や今後の方針について説明を求めるため質問を行います。また、市への政策提言を行うこともあります。

質問議員：11名

※議員名の下の()は、所属する会派または政党を示します。

本会議の生中継や録画映像をインターネットにより配信していますので、ぜひご覧ください。また、会議録はホームページ、市役所4階議会図書室、菊川文庫、小笠図書館で閲覧できます。(令和7年2月定例会の会議録は準備出来次第となります)



訂正

2月20日発行「議会のひろばNo81」の織部ひとみ議員の一般質問にて「軟骨電動式イヤホン」と記載がありました。正しくは「軟骨伝導式イヤホン」です。訂正をさせていただきます。

代表 未来に向けて市政方針を問う

西下 敦基（市民ネット）



会派市民ネットは、働く仲間の生活環境整備、まちづくりに関わる市民の育成・支援、子ども達が健やかに育ち、安心安全で幸せな日常のある暮らしの充実を中心に活動しており、市長へ提出した提言書をもとに質問した。

① 住民のニーズの多様化による業務量の増加、職員の人手不足、配置換えによる学び直しなど、職員の負担は大きいと感じる。この課題に対応する手段として、デジタル庁が運営する「デジタル改革共創プラットフォーム」の活用は考えられないか。

② 本市では令和4年度から企画政策課において「自治体情報システム標準化」に関する情報収集や意見交換の場として活用している。活用するためには、個人メールアドレスを付与する必要があり費用も発生することから、既に環境の整っている企画政策課において活用を継続するとともに、意見交換が活発に行われている政策テーマの所管部署に展開していく。

③ こども家庭センターの現状の運営状況と今後の取組は。



しあわせのわが描けるまち

④ 本年度から妊産婦・子育て世帯・子どもの総合相談窓口として開設をした。市民が迷うことなく相談しやすい環境の整備に加え、早期支援、継続的な支援体制が充実したことにより、相談対応件数は大幅に増加している。特に、家庭生活に関する相談や、学齢期の子どもの発達に関する相談が増加しており、教育委員会、学校、医療機関、社会福祉協議会などと連携し、細やかな支援を行っている。今後、相談機能をさらに充実させるために、様々な問題を抱えた家庭の養育環境を改善するよう、家庭支援や学習支援などの新たな支援先の開拓や、包括的な支援体制の拡充を進めていく。

⑤ 次期総合計画の策定において、幸福実感度の観点やウェルビーイング指標の活用の取組状況や分析結果及び活かされた点は。

⑥ 活用状況としては、第3次総合計画における目指すべき将来像に幸せの視点を盛り込んだところである。また、計画策定に当たっては、デジタル庁が示すウェルビーイングの設問を参考に市民意識調査を実施し、その結果についてまちづくりの各分野と幸福感との相関関係を分析した。分析結果を参考にし、市民の方が参加するワークショップでは、医療や福祉サービスの内容が知られたるような環境づくりとして、どこに何の施設があるかの病院マップの作成や、医療・福祉制度を知ってもらう学校や企業向けの出張授業など、幸福感を高めるための提案をいただいた。

⑦ 働く方々の環境整備や社会貢献を進める会社へ認定や表彰を行い、さらにインセンティブを与える制度の実施を進めることで、市内企業の発展につながると考えるが見解を伺う。

⑧ 厚生労働省において若者の採用・育成に積極的に雇用管理の優良な中小企業を厚生労働大臣が認定するユースエール認定制度を実施しており、このような制度などを市内企業

へ引き続き周知を行い、働く方々の環境整備の改善につなげていきたい。

⑨ 各地での災害では仮設住宅の場所の確保に問題があった。また、企業誘致ではすぐに利用できる場所が望まれている。このことに対し、災害時に利用できるスペースの確保及び企業誘致用地として事前に有効な土地開発の検討はできないか。

⑩ 建設型応急住宅の候補地は公共用地を原則とし、不足する用地は、市内の民間が所有する遊休地の活用を検討していく。企業誘致用地については、候補地となり得る用地の洗い出しを行う中で、企業誘致後の造成工事や建築工事などには相当な期間を要し、計画的に行っていく必要があるため事前開発は現在考えていない。



代表 いざ何う！ 令和7年度施政方針

黒田 茂（菊川ゆめ未来）



菊川ゆめ未来会派は、あるべき姿の議員像を追い求め、何の為に誰の為に行動するのかを議員活動の指針とし、新しい議会の幕開けに際し保守中道政治を实践する会派であります。その上で令和7年度の施政方針の内容について質問した。

き家を備蓄倉庫化する事で安心に変化させる、全国の他市町に例のない空き家備蓄倉庫化の取組を検討開始するか何う。

A 令和6年度市内空き家等の件数は340戸である。空き家の備蓄倉庫化について自治会からの要望はなく、実際に活用している自治体も把握しておりません。総合的な空き家対策を進める為、令和7年度に菊川市空き家等対策委員会にて空き家対策計画を見直し、地域における備蓄倉庫などにも活用できる仕組みを整えていく。



Q 菊川市には公共のプール・温浴施設がありません。両施設とも健康寿命を意識した施設として必要不可欠であり、教育面においても全国的に学校での水泳授業での熱中症やプールの老朽化などの問題で水泳授業が見直されている。更に部活動の地域移行に伴い将来にわたり絶対的に市内に必要なハード面と確信するが、施設建設の検討に入る予定があるか何う。

A 両施設ともに市民のニーズがあることも承知しておりますが、財政的な事が非常に大きな課題となっており、市としては施設の整備計画の予定は無い。両施設とも民間でも可能事業であり、必ずしも行政がやらなければいけない事業ではないと考える。民間事業者が主体となり整備を計画する場合は協力する。

費が市の財政を将来にわたり圧迫する事がないかの検証を行うか何う。

A 多様化する市民ニーズに効果的かつ効率的に対応する為、指定管理制度を導入することで効率的な運営がなされている。現在も必要となる設備の更新について計画的に工事を進めている。



Q 小学校の給食費無償化は国の方針で2026年度実現に向け動き出した、全国自治体の3割超の公立中学校において給食費の無償化が行われている。本市としても給食費の無償化を検討するか、また小中学校の保護者にアンケート実施予定があるか何う。

A 給食費の無償化は国の責任において全国一律に取り組むべき施策であると考えており、本市独自で取り組む事は考えていない。アンケートについても本市独自で取り組む考えはない。

Q 人口減少に伴い市内に多くの空き家が存在するのは周知の事実であり、空き家の困り事と災害時の食料・物資の不安事を掛け合わせる、空

Q 文化会館アエルは文化・教育の発信拠点として市民にとってなくてはならない施設であり、現時点で60年の耐用年数の半分が経過した。しかしながら耐用年数満了近辺の2060年には菊川市人口が約3万8,000人という予測が出されています。現在より9,000人、人口の減少が見込まれております。今後指定管理料含め老朽化に伴う維持管理

代表 令和7年度 菊川市のトリセツ

小林 博文（みどり21）



令和7年度施政方針にある市政運営の基本的な考え方について問う。

④ 黒沢川の特定期都市河川指定のメリットは、流域水害対策計画の内容、連携する機関、策定期間は、

① メリットとしては国からの新たな補助適用や重点的な配分となる等、浸水対策の加速化が期待される。流域水害対策計画策定の関係機関は、河川管理者、市、地域住民等で構成される「流域水害対策協議会」を設置予定。具体的内容は、河川改修や雨水貯留施設の整備などを協議会で検討し、令和7年度中の策定を目指す。

② 優良農地確保のため、傾斜のきつい部分は農地から除外していくことも必要と考えるが見解は。また、レモンや荒廃茶園の茶葉による製品開発実証実験の想定している担い手とは。

ある。実証実験の担い手は、経営難の茶生産者の新たな収入源として複合経営に取り組む茶生産者を想定している。



③ 企業誘致で工業用地開発候補地選定は早急に進めるべきと思うが見解は。また、菊川市の強みを活かした誘致対象の業種等は想定しているか。

① 平成30年に5カ所の調査を行い、1カ所は企業の工場拡張につながった。誘致対象としては業種にとらわれず、雇用の創出や人口増加、税収確保など地域経済の活性化につながる誘致活動を行う。また、市内企業

の事業拡充時に市内に留まっていただけのように引き続き情報提供や連携をしていく。

④ 菊川市立総合病院や家庭医療センターなどの強みを市外へ情報発信して患者を呼び込む考えは。

① 菊川市立総合病院では、ホームページに最新情報の掲載をするとともに、病院だよりの発行を年4回行い、近隣の開業医や福祉・介護施設などへ送っている。内科は4月から紹介状無しで受診可能となるよう体制整備を進めている。家庭医療センターでは、外来診療だけでなく、在宅診療など、家庭医を養成しながら地域に根差した医療提供を行っている。

④ 「学校の未来を考える会」の目指すゴールとその決定時期は。また、令和8年度から行う協議内容は。

① ここ一、二年の出生数の急激な減少により小規模な学校が増えること、さらには複式学級となる学校が生じる可能性もあり、本市の掲げる教育が維持できなくなることが想定される。「学校の未来を考える会」では、これらの課題を受けて令和10年度を目標に子どもたちに望ましい教育環境を確保するため、方策案の

作成に向け進めている。令和8年度からの地域との協議内容は、学校や地域の実情を踏まえ、子どもたちに望ましい教育環境の将来像を協議するための意見交換を実施する。

④ 菊川駅周辺の賑わい創出で南北ロータリーの構想の実現には、計画を今示すべきと考えるが見解は。

① 市民・若者・事業者等と様々な議論の場を持ち進めてきた。引き続き官民連携による菊川市賑わいづくり研究会等で話し合いを進める。南北ロータリーは歩行者動線を優先して整備し、駅前広場は待つことや人々が出会う空間に必要な休憩施設や広場空間として整備することを計画している。



一般 健康寿命延伸と高齢者福祉・防災

坪井 仲治 (みどり21)



昨年9月に静岡県が公表したお達者年齢で、菊川市の男性が県内で3年連続トップとなった。女性も前年より順位を上げており、菊川市の高齢者の皆さんが健康状態を維持することに心掛けている結果である。更なる健康寿命の延伸や高齢者福祉・防災等について質問した。

Q 高齢者がグラウンドゴルフ・フィットネスジム等で体力づくりをされているが、運転免許返納以降の移動手段についての施策は。

A 運転免許証返納者への支援として、運転経歴証明書の交付月に6カ月間を加えた期間、コミュニティバスの運賃を免除している。移動手段を持たない高齢者の皆さんにとってコミュニティバスは、日常生活を送る上で重要な役割を担っていると考えられていることから、健康維持のために利用する施設周辺へのアクセスや、停留所の増設なども考慮しながら、より使いやすい移動手段になるよう毎年、運行の改定を行っていく。

Q 避難行動要支援者に対する指定

避難所における避難支援について重要と考える事は。

A 指定避難所の避難所利用者のうち、高齢者や障がい者などの特に配慮が必要な人の情報を把握すること、要支援者の体調や状況に配慮した専用スペースの設置、福祉避難所への移送手段の確保など、要支援者の受け入れ・支援を的確に行うことが重要で、菊川市避難所運営マニュアルを避難所運営委員会に周知・啓発し、要支援者などの受け入れ・支援について平常時から備えておく必要がある。



一般 市内後継不在事業所の実態

白松 光好 (みどり21)



菊川市として市内事業所の継続性について、どの程度の情報を得ているか。また、今後どのように対応していくかを質問した。

Q 菊川市内中小企業で事業承継を検討している、または後継者を探している企業を把握しているか。

A 令和3年度に菊川市商工会員を対象にアンケート調査を実施。246件の回答のうち「後継者が決まっている」が54件、「後継者候補がいるが未定」が47件であり、全体の41.1%が事業承継を検討していると推測する。「事業承継を希望するが後継者がいない」事業所が18件ある。静岡県の後継者不在率は令和6年度のデータで50.3%と過半数が後継者不在である。

Q 菊川市内の中小企業の事業承継について今後アンケート調査をしていくか。

A 令和3年度の調査以降、状況の変化も考えられるため定期的なアンケートを実施していく。

Q 事業を承継することが困難で、廃業を選択せざるを得ない中小企業

が増えている菊川市内の中小企業で後継者不在企業にどのような対応をするか。

A 産業支援センター職員の間から、基礎的な内容のセミナーの開催や専門家の相談の情報提供を実施していく。

Q 菊川市産業支援センターの相談件数の実績は。

A 昨年開業より延べ24件の相談に対応した。

Q 菊川市独自の事業継続補助金の創設は。

A 国や県の制度活用をすすめ、菊川市独自の補助金は現段階では予定していない。



一般 菊川市におけるスポーツ改革

本田 高一（菊川ゆめ未来）



平成23年4月に総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」が設立された。新しい組織が時代の変化に伴い生まれたのならば、既存組織と上手く融合させるなどの改革を行い、予算を使わなくとも有益な事業を展開し、生まれた予算を公園整備など、市民が楽しむフィールドの運用に回すことが必要ではないかという観点から質問した。

◎ 今後の菊川市においてスポーツ振興の具体的な方針を伺う。

◎ 第2次菊川市スポーツ振興基本計画の中で、スポーツ団体の自立支援、交流、情報交換などに取り組んでいるが、それぞれの団体に目標や特徴があるため団体の融合の検討には至っていない。現在、中学校部活動の地域展開においては、菊川市スポーツ協会、スポーツ少年団、アプロス菊川が連携して取り組んでいるところである。その他スポーツ団体においても組織の在り方について考えていく必要があると考えている。

◎ 既存組織の継続にとらわれず、

健康づくり、生涯学習などを新しい時代に合わせた組織や方法で推進する考えがあるか伺う。

◎ 各自治会に依頼している各種委員を新しい組織に組み直すことは、それぞれに成り立ち、目標、特徴があるので難しいと考える。スポーツ振興基本計画を振興していくための庁内連絡会には、スポーツ推進委員も含め、スポーツによる健康づくりや地域づくり、それらにかかわる子供から高齢者にわたる施策を所管している部署がかかわっているため委員が実施する業務についても集約や連携ができるよう、調整していく。



アプロス菊川ノルディックウォーク教室

一般 犯罪が起こらない強いまちづくり

松永 晴香（みどり21）



場に1カ所、堀之内小に3カ所。

◎ 近隣の市では通学路に防犯カメラを設置する補助金を出しているところがあるが、通学路はどのように考えるのか。

◎ 学校と防犯対策を協議し、カメラの設置も含め検討していく。

◎ 個人宅への防犯に対する補助金等は。

◎ 現状では検討の段階になっていない。まずは防犯灯設置事業によって地域の防犯力を高めていく。

◎ 菊川市ではどのようにして防犯をしていくのか、今後の方向性を伺う。

◎ 行政、警察、防犯協会、自治会などが連携した活動により市民の防犯意識高揚を図り、個人と地域全体がつながりを持って地域ぐるみの防犯活動を推進していくことが不可欠であると考えている。

◎ 防犯カメラの設置状況、件数はどのようになっているか。

◎ 市役所本庁舎、庁舎東館、地区センターなどに25カ所、市営の駐輪



一般 正念場の菊川茶と稲作

渡辺 修 (みどり21)



菊川市の基幹作物であるお茶と稲作について質問しました。

53・2%です。

㊦ 昨年、廃業した茶工場や茶農家の状況、今年の茶業の展望と市の対応について伺います。

㊦ 本年の茶工場数は51工場で7工場の減、茶農家数は416戸で63戸の減。経営基盤の強化や海外輸出を見据えた供給拡大が必要と考えています。

㊦ 米農家の数の推移、米農家の売上げは増加しましたか。

㊦ JA遠州夢咲によると、管内の出荷契約者数は、令和2年度292人に対し、令和6年度は196人で減少傾向にあります。一等米の割合が減少しており、売上げは増加していないと推察されます。

㊦ 気候変動による高温推移の影響で一等米の割合が下がっていますが、市内ではどのように推移していますか。

㊦ JA遠州夢咲管内の一等米の割合は、前年85・3%に対し本年は



㊦ 耕作面積が減ったことで水量を減らされると、栽培に大きく影響します。高温対策として水量の変化を要求できないものでしょうか。

㊦ 高温対策における水の確保は必要であり、農業者からのご意見を踏まえ、関係機関と情報共有をしております。

一般 学校給食費を無償に

奥野 寿夫 (日本共産党)



子育て世帯の経済的負担軽減のため、学校給食費の無償化などについて質問しました。

㊦ 中学校を先行してというところまでは考えていない。

㊦ 「菊川市総合計画」の施策として「子育て世帯の経済的負担軽減などで子育て世帯を応援します」としている当市において、学校給食の無償化の意義をどのように考えているか。

㊦ 児童生徒の保護者の経済的負担の軽減や、子育て世帯の不公平感の低減につながるものと考えている。

㊦ 市単独でも実施に踏み切る考えはないか。

㊦ 国の責任で給食費を無償とし必要な財源を確保することを要望している。そのような中、2月26日の国の予算委員会において、給食の無償化を、まずは小学校を念頭に、地方の実情などを踏まえ令和8年度に実現する考えが示されたので、本市でも実現に向けた検討を開始する。

㊦ 国が実施しない中学校給食について、市単独で実施は検討できないか。

㊦ 無償化で給食の質の低下を心配する声も寄せられた。保護者にアンケートなどを実施する予定はないか。

㊦ 国の学校給食摂取基準に基づき必要な栄養や質・量を確保している。保護者には、毎月献立表を提供したり、LINEで献立を公開し、給食センター運営委員会でご意見を頂いている。改めてアンケートを行う予定はない。

他に「保育料の無償化」、「国民健康保険税の子ども分の軽減」について質問しました。



小学5・6年生の給食

一般 農業用ため池における治水対策

東 和子 (みどり21)



農業用ため池は、農業用水を安定的に供給するために築造され、かんがい用水の確保のほか洪水の調節や土砂流出防止、生物の生息、生育の場、地域の憩いの場の提供など多面的な機能を有し、重要な役割を果たしている。

しかしながら、近年、農業者の高齢化や離農などによる荒廃農地の増加が進み、また都市部に近い地域では農地が宅地や商業施設等に転用されるケースも増加し、水田の利用面積は徐々に減少している。

① 市の農業用ため池の件数を伺う。
 ② 市内には95箇所、農業用ため池があり、菊川地域に59箇所、小笠地域に36箇所が所在している。

③ 農業用水路の断面改良、井堰、水門の改良及び井堰管理の方策を樹立し浸水防止に備えるところがあるが、どのような計画か伺う。

④ 農業用水路の断面や井堰、水門の改良は、施設の更新・改修に併せて検討する。また、井堰管理について

では、かんがい期や非かんがい期における適切な管理方法及び適切な管理が浸水防止につながることを農業者の皆さまに周知していく。

⑤ 排水路の新設や合流点の改良について計画内容を伺う。

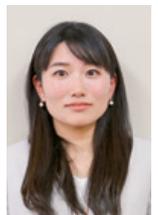
⑥ 市では地元自治体からの要望や排水不良が発生している箇所の確認を行い、その原因を調査し対応しており、その対応については、排水不良の原因が土砂の堆積であれば浚渫を実施し、排水断面が不足していれば改修工事の補助や工事を実施している。



耐震対策完了ため池(北之谷池)
 (上:着手前) (下:完成)

一般 子ども・若者施策について

須藤 有紀 (みどり21)



20年、30年先の未来を見据えたまちづくりのために、見解を伺う。

① 菊川市の魅力をどのように捉え、発信していくのか。

② 移住希望者が重視する便利さ、快適さ、心の余裕を満たすまちであることが大きな魅力。今後は20周年記念動画コンテストの入賞作品なども活用し、動画配信を強化する。また、地域おこし協力隊を募集する。

③ 相談・支援体制整備の具体的な展望は。

④ 子ども・若者のやりたい、やってみたいを今以上にサポートするため、若者に寄り添い活動などを支援するユースワーカーを確保する予定。

⑤ 社会に関わることでできない、声を上げられない子ども・若者へのアプローチは。

⑥ 県設置のオンラインプラットフォーム「こえのもりしずおか」を活用し、全ての子ども・若者が意見を表明する機会を確保するとともに、

教育委員会と連携して制度の周知を図り、意見をまちづくりに反映するよう努めていく。

⑦ 県が行うネクストイノベーターの創出等、県と連携した施策は。

⑧ 本市における若者の起業家育成は、起業に関心を持つきっかけづくり、働き方の選択肢となる取組が必要。学生を対象に市内で起業した人の話を聞くイベントの開催や、起業に関心を持った学生をENGAWAでサポートするなど、独自の新たな取組を今後検討し実施していく。そして、県の事業への参加につながるよう取組を進める。

他に「農業施策」について質問しました。



一般 公園運営のこれから

石井 祐太 (市政の見える化党)



公園は市民の憩いの場であり、特に子どもたちにとっては大切な居場所だと考えています。公園の今後の運営について質問します。

Q 公園施設意見集約の結果をどのように受け止め、今後どのように活用していくか伺う。

A 今後の公園整備の参考とする。

Q 新たに遊具の導入を検討しているか伺う。

A 財源確保も重要となり、公園の規模や利用状況、安全基準による優先度に応じ、新たな遊具への更新を検討する。

Q 都市公園公行為許可基準が実施されているが、その作成に至った経緯と徴収した利用料の活用を伺う。

A 条例や規則を分かりやすく取りまとめ、公園の利用促進を図るとともに、公園利活用へ柔軟に対応することを目的とし、利用料は、公園の維持管理財源として活用していく。

Q 水辺で遊べる公園について、現



在、工事中の下前田川樋門地域にある広場を活用し、市民が河川とふれあえる場所づくりを進める動きがある中で、官民協働の新しい形の公園等を検討する余地があるか伺う。

A 下前田川合流部周辺では、国土交通省が進めている築堤工事に合わせて、広場を造成することが計画されており、今後、民間団体や国土交通省とともに、社会実験を通じた利活用を検討していく。

他に、「福祉事業の方針」「事務事業評価」について質問しました。

一般 自然災害への備えは万全か

藤原 万起子 (市民ネット)



政府が地方自治体に対し、災害備蓄状況の公表を年1回義務づけることとなる。菊川市の防災備蓄など、防災対策は万全なのか伺う。

Q 災害備蓄状況の公表を年1回義務づけへの対応は。

A 令和7年4月1日にホームページにて、現在における備蓄状況や今後の計画を示した菊川市防災資機材備蓄計画を公表するよう進めている。

Q 避難所の備蓄倉庫の現状は。

A 避難所となる各小中学校や地区センターへの分散備蓄に加え、避難者数に応じ、中央防災倉庫などから配送する集中備蓄を実施している。

Q 災害用備蓄品の現状は。

A 計画的に購入をし、基準に達していないものについても計画的に整備をしている。保管状況、管理方法は、賞味、消費期限に合わせて随時更新している。管理方法は、定期点検や訓練時に異常があれば修繕などを実施し、管理している。

Q 市役所女子職員による防災ガールズの今後の活動は。

A 地区防災連絡会で、地域防災に女性が参画するために必要な工夫について発表し、啓発した。今後も防災ガールズは、一人でも多くの女性が参画できるように取組を実施する。

Q 「わたしの避難計画」の活用と周知は。

A 昨年、地域防災訓練前に各戸配付し、作成のための啓発をしている。防災ワークショップや防災イベント、防災指導員への研修教材として使用し、多くの市民が作成できるよう広く啓発していく。



一般 介護と介護士問題について

織部 光男（無所属）



令和5年度の要介護（支援）認定者数は705万人に対し、各サービスの介護職員数は約213万人、対

前年比2・9万人の減です。全国では家族介護者約795万人、ビジネスアラー約307万人、介護離職者約11万人です。2030年の経済損失の推計は約9・2兆円です。介護職員は今、不足しています。これからは確保することが困難になります。「募集ケアマネ、介護士、職員」のチラシを約2万枚新聞広告に入れましたが、1件の応募もなかったそうです。これが現実です。介護保険事業計画推進委員から令和6年2月に出された答申の中で、安定した介護人材の確保で、外国人介護人材を広く検討と明言しています。外国人材の受入環境整備に菊川市として取り組むべきと、質問します。

◎ 外国人介護士の受入れをしませんか。

▲ 外国人人材雇用の支援として、支援機関の紹介を継続し、併せて外国人人材を雇用している事業所の見学会を実施する予定です。

◎ 介護士不足を民間施設任せではないのですか、市として具体的な取組はしていますか。

▲ 本市の取組としましては、国・県が実施する支援事業の周知並びに介護保険事業所連絡会や、きくがわ医療・介護連携多職種研修会を開催し、研修による資質の向上や事例及び課題の共有などから仲間をつくり、孤立を防ぐことで離職防止・定着促進を図っています。



みんなの声

投稿者より（掛川市在住の方より）

小笠地区に職場があります。職場内で議会だよりを閲覧できて、菊川市の現状を知るきっかけとなっています。

投稿者より

各議員さんからの質問を読んでいると、さよなと感ずることがありました。夏場のプールも今までは違ひ、これからの気候変動を考えると、防災も気になります。

「皆さまの声を聴かせください」

「議会のひろば」を読んだ感想や意見をお寄せください。

もれなく菊川市議会特製 “きくのんクリアファイル” をプレゼント!!

- メール gikai@city.kikugawa.shizuoka.jp
- FAX (0537) 35-2116
- 郵送先 〒439-8650 静岡県菊川市堀之内61番地

※議会への要望や意見なども受け付けています。
※クリアファイルの郵送のため、住所と連絡先も記載ください。



メール送信はこちらのQRコードを読み取ると便利です。



きかせてパパママの声

Vol.37

菊川市に住むお父さん
お母さんに聞きました。

今年の4月から娘が新しくなった小笠北こども園に入園しました。ピカピカの園舎に子供も親もワクワクしました。心配に思うこともありますが、毎日ニコニコ笑顔で元気に通い、この園でたくさんのお友達や先生と楽しい思い出をつくり、家庭では体験できないことなどを経験し、成長をしていってほしいです。

松橋 栄治さん・裕美さん

6月定例会の予定 (各日とも午前9時～)

5月	
29日(木)	議案の提案説明
30日(金)	議案の提案説明(前日の続き)
6月	
6月9日(月)	一般質問
10日(火)	
11日(水)	質疑・討論・採決・委員会付託
23日(月)	委員長報告・質疑・討論・採決
24日(火)	予備日

※予定が変更になる場合がありますので、事前に議会事務局(35-0941)へご確認ください。

編集委員紹介



- ・委員長 渡辺 修
- ・副委員長 松永 晴香
- ・委員 黒田 茂
- 藤原 万起子
- 須藤 有紀
- 小林 博文

【無料】地域住民と自治体をつなぐアプリ「マチイロ」
菊川市議会だより「議会のひろば」も登録しています！



ダウンロードはこちら

マチイロ



あなたもできるこんなこと！



傍聴

本会議・委員会などを傍聴できます。開催日に議会事務局へお越しください。



陳情・請願

特定のことについて、議会などに実情を訴え、適切な措置を要請できます。



市民説明会

委員会審査案件の審査経緯、結果などについて、説明会の開催を要求できます。

次回の議会のひろばは

8月発行予定です。

(年4回発行)

お楽しみに！



表紙の写真



令和6年度こども議会
こども議員のみなさん

菊川市議会



処分するときは雑がみとして
リサイクルを！

© 菊川市

